【授業科目】小児看護学概論　　Introduction to Child Nursing

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
別所 史子	２年次 前　期	必　修	1	１５	講　義	あり	巻末 掲載	可

授業概要 （内容と進め方）及び 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／小児看護の理念・役割、子どもの権利、子どもと家族を取り巻く社会環境、及び子どもの成長発達の一般性・共通性と発達段階による特徴を学修し、成長発達過程にある子どもと家族を支援するために必要な基礎知識を修得する。 講義形式で、教科書を使用しながら適宜資料を配布して行う。 課題に対するフィードバック方法／提出された事後課題に対して、全体の傾向や疑問点についてコメントを述べる。
実務経験に 関する授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な小児看護学の知識について、専門的な知見にもとづく資料・視聴覚教材を交えながら指導していく科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①小児看護学で用いる主要な概念について説明できる。 ②子どもの人権について説明できる。 ③子どもの成長発達の一般性・共通性、成長・発達の評価方法について述べることができる。 ④子どもの発達段階に応じた日常生活援助について述べることができる。 ⑤子どもを理解するための理論の特徴とその活用方法について説明できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前学習： ・すべての回において指定の教科書の単元に該当する箇所を事前に読み、疑問点を整理しておく。（30 分） ・発達理論に関しては、発達段階別の授業の基盤となる知識であるため、１年次の人間発達学（選択）の講義を含め復習をしておく。（60 分） ・第８回　各発達段階の身体・心理・社会的特徴を系統的に整理する。自身の成長発達過程を振り返り、子どもの健康の保持・増進に向けた看護について各自意見をまとめる。 事後学習： ・教科書や配布資料、授業中に紹介する文献、書籍などを参考に授業内容を振り返り、要点を整理する。調べたうえで、不明な点や疑問点があれば、教員に質問する。理解できないまま放置しない。（60 分） ・第２回　自身の成長記録をもとに、成長・発達を評価する。 ・第３回　各理論をもとに、自身の成長発達過程における体験をまとめる。 ※その他に、講義内容に関連した課題を課すことがある。（30分）
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　ガイダンス 小児看護の特徴と理念 （小児看護の対象・目標、小児看護・医療の歴史、子どもを取り巻く社会の状況、子どもの権利など） 第2回　子どもの成長・発達（成長・発達の概念と定義、一般的原則、評価など） 第3回　小児看護で主に用いられる理論 第4回　新生児の成長発達と看護 第5回　乳児の成長発達と看護 第6回　幼児の成長発達と看護 第7回　学童の成長発達と看護 第8回　思春期・青年期の成長発達と看護 成長発達過程にある子どもの健康の保持・増進に向けた看護（ディスカッション） すべて別所
評価方法 評価基準	筆記試験 90%、講義時に指示する課題 10%で評価する。
教科書	奈良間美保他著『系統看護学講座　小児看護学概論・小児臨床看護総論　小児看護学①』　医学書院 浅野みどり編『根拠と事故防止からみた小児看護技術第３版』医学書院
参考書等	中野綾美他著『ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護』 メディカ出版 日本子ども資料年鑑　愛育研究所 医学映像教育センターDVD 『乳幼児の発達と保育（0～5 歳児）』 『目で見る子どもの保健：成長・発達編』 『赤ちゃんの一年：前編・後編』 その他、講義中に提示する。
学生への 助言等	皆子ども時代を経験しています。自分が子どもだったころのことを思い出したり、記録を辿ったりしながら学習していくと子どものことが理解しやすいと思います。 本科目は小児看護援助論Ⅰ・Ⅱ、実習科目の基盤となる内容ですので、繰り返し学習をして成長発達過程にある子どもをイメージできるようにしてください。理解を深めるために積極的に質問をしたり、文献や書籍などで調べたりしてください。授業の理解度によっては、講義の内容や順番が変更になる場合があります。